

ごあいさつ

二〇〇四年九月九日に、胃がん全摘出手術をして以来、一年半にわたる闘病生活の間に、ご丁寧なお見舞い、治療のアドバイス、励ましのお言葉を数々いただきまして有り難うございました。

二〇〇六年二月一日に、県がんセンターから、三度目の生還を果たしましてからは、おかげさまで小康状態が続いております。

この期間に満六十九歳を迎え、家族そろって古希を祝いました。その記念に、『丹羽一夫 古希 平成十八年四月二十二日』を作成いたしました。この小冊子は、七〇年間のわが人生を振り返るとともに、がん闘病生活の近況をご報告するものでもあります。

再発がんは、完治しないと主治医から宣告されて、快気は叶いませんが、ご好意に対する感謝の気持ちと近況報告を兼ねまして、お手元に小冊子をお届けいたします。ご笑覧いただければ幸いです。ごあいさつ。

二〇〇六年五月吉日

丹羽一夫